



代っ子通信

令和7年10月17日
<第33号>
校長 平塚智康

団結し、楽しんで、全力尽くした運動会

10月11日（土）、運動会が行われました。小雨の予報もある中、子どもたちの元気とパワーで雨雲を吹き飛ばし、通常プログラムで最後まで演技や競技を行うことができました。運営委員会の子どもたちが考えた今年の運動会のテーマは「団結！楽しめ！全力で！～仲間につなげ 想いのバトン～」です。子どもたちが一生懸命に応援や団演、団競などに取り組んでいる姿を見ていて胸が熱くなりました。

子どもたちたちが、運動会本番、いつも以上に張り切って活動できたのは、お父さんやお母さんにいい所を見せようがんばったからにちがいありません。これからも、子どもたちのがんばりやいい所をたくさん見つけ、認め、勇気づけてあげてください。ありがとうございました。



<4・5・6年生「応援合戦」>



<5・6年生「つなひき最強決定戦」>



<1年生団競「チェッコリ玉入れ」>



<2年生団演「みんなにハピネス届けます！」>



<3年生団競「力を合わせてゴールを目指せ」>



<4年生団競「山代タイフーン」>



<5年生団演「南中ソーラン」>



<6年生団競「思いをつなぐ1本のバトン」>

赤団団長 ○○ ○○

今年の運動会で団結が大事だということがわかりました。応援団が団結して明日の練習のことなどを決めなからたら応援がうまくいかないし、みんなもついてこない。でも団結したら応援もスムーズに練習できみんなもついてきて嬉しい気持ちになるから、団結することが大事だと思いました。リレーでも団結は大事だと思いました。団結しないと、バトンミスがおこる。どんなことも団結が必要だということを運動会でわかりました。これからも一致団結して何事にも挑戦していきたいと思います。

ぼくは、自分を変えたいと思って応援団になりました。団長や副団長を決めることになり、最初は団長になるのが不安で立候補しようか迷ったけど、勇気を持って立候補しました。団長は団のトップだからみんなを引っ張っていかないといけないから、応援団のこと赤団のこと、委員会や係のことなどいっぱいあって大変だったけど、運動会が終わって団長をやってみてよかったなと思いました。何事も挑戦したりやってみたりすることはいいことで大事なことだとわかりました。これからもみんなで協力していくことや、団結していくこと、何事にも挑戦していくことを大事にしながらやっていきたいです。

白団団長 ○○ ○○

私は運動会のリレーで第1走目でした。第1走者はみんなとっても速くてバトンパスも上手でした。結果は5位と6位だったけど、応援の部では「全力で楽しんだ賞」だったので、もう優勝みたいなものだなと思いました。つなひきでは、さいしょ黄団とやって2-0で勝てたのでそのときはとび上がってよろこびました。決勝では赤団とやって2-0で負けてしまったけど、つなひきが終わったあとにマイナス発言をする人がいなくて、ぎゃくに「勝てたからうれしかった！」とプラスな発言の人がいっぱいいいて、負けても勝っても思い出に残るつなひきでした。

応援合戦では、みんな大きな声を出せたと思いました。私は白団の団長で練習からいっぱい声を出していました。さいしょは、みんな先生に「声をもっと出せー！！」っておこられてばかりだったけど、さいごの練習日には、4・5年生もがんばって声を出していました。本番のときは、みんなが全力で楽しめて団結できていたと思うから、けっかが悪くても楽しめた運動会でした。

黄団団長 ○○ ○○

運動会本番では朝からずっとノンストップで動きました。なので朝から疲れると思ったけど、なぜか疲れませんでした。これも運動会の本番パワーなのかも知れません。そして準備が整ったら教室で円陣を組み自分が掛け声で「黄団絶対優勝するぞー！」と声を出し、また運動場へ向かいました。運動会が始まるとドキドキよりもワクワクの方が強くて不安とかは一切自分の心には生まれませんでした。

そして選手宣誓では大きな声を出して胸を張って宣誓をしました。最初自分たちが出るのは応援合戦です。運動会練習の中で一番全力を注ぎ込んだものです。なのでこれで得点や順位が変わるわけではないけど本気で取り組みました。気のせいいかわからないけど、みんな今まで一番の声を出しているなと思って自分がみんなに負けてちゃだめだと思い今まで一番の声を出して応援合戦に取り組みました。

次は綱引きです。綱引きではあまり練習をしていなかったから自信はありませんでした。そしていざやってみると案の定4戦4敗という結果に終わりました。でも綱引きは負けても大丈夫。自分たちにはリレーがあります。

5年生の南中ソーランが終わりついに入場です。やっぱり入場は緊張しなくて気楽に入場できました。そしてリレーが始まると自分は3走目なので岳さんが走って、泰平さんにバトンが渡ったらすぐに出ま

した。なんとか緑と黄色が1・2で行けたので安心しました。そして自分が走る番になるとインコースを攻めて全速力で走りました。なので白団・赤団に抜かされることなく紗依さんにバトンパスができました。そしてちょっとしたら赤団がじわじわ追いついてきて、黄団がリレーで1・2を取ることは厳しいかなと思っていました。アンカーにバトンが渡ると、緑は余裕で1位のゴールで、問題は黄色です。まだ黄色は3位のままでやばいなと思ったら、あゆみさんが一気に走っていってギリギリで黄色が2位になって大興奮しました。

全部の種目が終わったら、ついに表彰式です。黄団の順位は2位でした。あと5点！めちゃくちゃ惜しくて赤団に負けました。結果は赤団に負けたけど、自分は今までの運動会でも一番、これからの生活でも一番の運動会になりました。本当に団長をやっていて良かったなと思いました。卒業式まで自分は黄団の団長という誇りをもってこれからの学校生活頑張ります。



<団長 選手宣誓！>



<各団団長・副団長 みんなかっこよかったよ！>

平 団長の作文を読んでいて本当にうれしくなりました。3人とも団長という大役にチャレンジし、その経験を通してたくさんのこと学び成長できましたね。そして、4・5・6年生のみんなが団結して団長を一生懸命支えていたこともすてきです。6年生のみなさん、本によくがんばりました。「ああ、ぼく（わたし）も、あんな6年生になりたいなあ。」きっと下級生たちも、6年生にそんな“あこがれ”を抱いたと思います。6年生のみんなには、これからも学校生活のいろんな場面で、下級生が目標とするようなすてきな最上級生の姿をたくさん見せてほしいと思います。

保護者の皆様

私が運動会でうれしかったことはまだ他にもあります。それは、運動会が終わった後の後片付けのことです。PTA会長の松田さんが、「お時間のある方は後片付けの協力をお願いします。」と呼びかけると、本当にたくさんの方々が後片付けに力を貸してくださいました。おかげ様でたくさんあったテントがあつという間に片付いてしまいびっくりしました。また、片付けを手伝ってくれた卒業生もいて、それもすごくうれしかったです。みなさん、本当にありがとうございました。

運動会が終わった後、何人の保護者の方々に、「いい運動会でしたね。」と声をかけられました。ある保護者の方からは、「子どもたちがすごく団結しているなあと思いました。他の学年の競技や演技の時も、みんなが声援を送っていて感心しました。先生方が、子どもたちといっしょにがんばっている様子もよくわかりました。それに、保護者の方々もすごく盛り上がって、あちらこちらで歓声があがっていました。こんなに盛り上がっている運動会、他の学校で見たことない、と言っている人もいましたよ。」という感想も聞きました。

私は常々職員に3つのワークを大事にしよう、と言っています。3つのワークとは「フットワーク」「ネットワーク」「チームワーク」です。すぐに動く・迅速に対応する、絆やつながりを大切にする、力を合わせる・協働する、といったことを大切にしようという意味です。今の山代小学校（子どもたち、教職員、PTA）には、3つのワークがしっかり築かれつつあるなあと感じ、子どもたち共々充実感や達成感を感じた私でした。保護者の皆様、温かいご声援やご協力本当にありがとうございました。これからも、子どもたちのために、職員一同力を合わせてがんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。